

明るく元気の出る町

平成9年4月1日発行・毎月1日 編集・発行/秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1997

4

NO.505



町イメージキャラクター
「モウ太くん」

姉妹そろって高校卒業

小野和美さん
里美さん



▲施政方針説明を行う阿部町長

山紫水明の里東由利町。

その基礎となる平成9年度予算が3月定例町議会で議決されました。

今月は町長が述べた施政方針説明と新年度一般会計を中心にお知らせいたします。

町長施政方針①

秋田県では二年にわたり、食糧費問題等の不適正支出の事実が情報公開等で明らかになり、その後始末をどうするのか、また責任をどう取って行くのか大きな問題になり、県政の最高責任者である佐々木知事がその混乱の責任を取り三月いっばいで知事職を辞任するという事態になりました。

このことは秋田県だけの出来事では有りません。情報公開条例をもっている県の多くに、金額の多少は別に同じような問題が存在することが明らかになってきております。

中央官庁も大きく揺れています。大蔵省、厚生省、通産省の幹部職が引き起こした事件が大きく報道され、

たことであります。特にあのゴールドプランのオーソリテイといわれた厚生省のトップが自分自身の利益のために権限を行使するということがあり、そのためにこれから高齢化社会に向かって大きな問題になっていく老人介護の仕組を模索する介護保険法案の国会提出が遅れてしまうという心配もでて、本当に歯軋りする思いであります。

今年は地方自治法が施行されてからちょうど五十周年であります。五十年という時間は、どんな制度にも制度疲労とか制度の腐食がでるということでもあります。いろいろ論議を尽くし、世界の中でも大きな役割を期待されている日本として、また日本国の確かな繁栄のために、頑張る体勢づくりを再構築して行かなければならないのであります。私たちも国、県とは比べ物にならない小さな地方自治体ではありますが、改めて私

「行政は継続、明るく元気の出る町を次世代へ」

たちの役割は何か、町民の期待は何かと襟を正し、町民の幸せのために心して行かなければならないと考えるのであります。

昨年は我が町にとっては総じていい年になりました。あきたこまちの作況指数一〇二ということになりました。春先低温で雪消えが遅れ、農作業が遅れてしまい二年続の不作かと心配したのでありましたが、八月に入って異常とも思える好天高温が続く、結果的に良い作柄になったのであります。

また「由利牛の里」も子牛の上場頭数は減ってしまいました。値段が戻って来ました。平均価格が四十万円を超えました。高値安定であり本物になって来たという思いであります。飼育農家、JA東由利と一緒にやって取り組んできた数々の施策効果があつたことであります。特に平準化事業も大きな力になっており、県の種雄牛のみならず、国の種雄牛をも使わせていただいた効果がありました。頭数の減少は残念なことですが、価格の高値安定がこれからも続くことを祈念するものであります。

「山紫水明の里」を目指しての整備を本格的に始めた年になりました。そのため基本となる下水道整備事業を開始できました。全町が完了するのが計画では二十八年前という大事業ではありますが、まず老方地区と館合地区を一つの処理区にして、五カ年で事業完了する計画が開始しました。老方地区の管路工事から始まりましたが、工事が積雪時期に入り、また岩盤が思ったより浅いところから出たりで、進捗率を心配したものであります。施工業者の適切な管理で、まずは順調な滑り出しになりました。処理場の場所も地権者のご了解もいただき、平成九年度に処理場建設をするようになります。

活性化拠点整備事業も、道の駅「黄桜の里」、温泉保養施設「ゆらり」、お食事処「やしお」も順調な活用がされているところであります。昨年十一月「ゆらり」も開業一周年を迎え、入湯者が十六万人ということとです。開業景気もあつてのことでありましょうが、当初計算をしておりました、月一万人という目標をクリア、三月には二十万人を達成したところです。

我が町のいいこの場所としては勿論のこと、国道一〇七号のたまり場になっています。しかも「ゆらり」と「やしお」は臨時、パートも併せて五十人ほどの職場にもなっております。行政ではなかなかできない町民サービスなどもでき東由利町の評価を高めてくれる施設にもなっております。

道の駅の広場に農協女性部の皆さんが開設しました農産物直売所も大変評価の高いものであります。いろいろな意味での活性化拠点になって来ております。

平成八・九年度、二カ年の継続事業であります地場産業センターの建設をもって第一次ふるさとづくり事業が一応完了することとあります。第三セクター「黄桜の里」ほか七人の皆さんがテナントとして入つての地場産業センターであります。我が町における購買率を上げ町民の大きな期待に応えて行けますように、祈念しているところであります。これら一連の施設が我が町町民は勿論であります。訪れる交流人口の皆さんにも大いに活用されることを強く期待している所でもあります。

行政は継続でもあり、いつも申し上げております町づくりの四本柱は不変で永久の課題でもあります。先人先輩が築き上げて来たこの町を私たち現役がしっかりと引き継ぎ懸命の努力をしてより明るく元気の出る町にして次の世代に引き渡して参りたいものです。平成九年度も町政のますますの発展のためご支援賜りますようお願い申し上げます。

いきいきとした町づくりのため、今年行う主な事業

地域産業発展を目指した農村づくり

●県営担い手育成

基盤整備事業関係

葎沢地区の圃場再整備 ▼葎沢地区は、昭和三十年代の初めにいち早く五アール田に整備済みでありました。次の段階になかなか踏み切れないでおりましたが、ガット関連で最後的大型農業投資になるといわれる事業があるうちということもあり踏み切ったものであります。いち早く同意率一〇〇%になり、採択が早まり平成九年度には杉淵の水路整備から始まることになりました。

●中山間地域総合整備事業関係

八塩地区の再開発 ▼これは新山村

振興事業とセットで、いままです補助事業で手の入らなかった山間部の水路を整備するという事で取り組んでいるものであり、将来的には、八塩地区の再開発事業にもなっていくものであります。

その一つが水源地のボツメキ公園の整備になります。夏にはかなりの名所にもなっていることもあり、駐車場の整備や水の落ち口などの整備を考えているところであります。

●畜産関係

畜産振興基金創設 ▼J A東由利は

平成九年四月から「J A秋田しんせい」として一市十町の広域合併農協になります。合併してから一緒に施策できますように基金を作り上げておこうとしました。特に我が町は秋田県一の繁殖牛の産地であります。五年間で町が三千万円、J Aが一千万円、合計四千万円の果実運用型基金にしようとするものであります。

子牛価格 ▼我が町の価格の支えに

大きく貢献しました肉用牛平準化事業であります。これを今ある人工授精運営協議会にJ A東由利とで二百五十

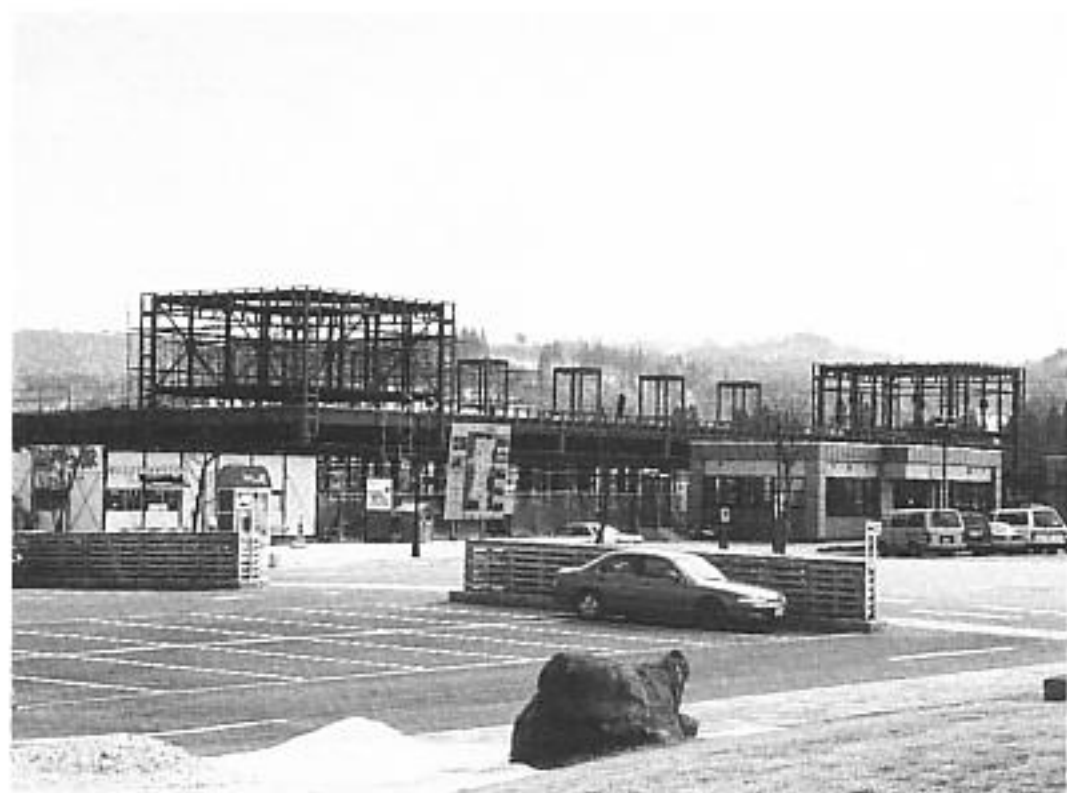
住みよい生活を目指した生活環境づくり

●地場産業センター関係

地場産業センター ▼順調な工事の

進捗であります。ご承知のようにこの整備事業は町とテナントに入る皆さんとの共同事業になります。出来れば七月中に開業したいという意向が強いようであり、意向に添った展開ができるように整理して参らなければならないものでもあります。

竣工式などの大きなセレモニーは、いろいろな工事、事業の進捗状況を見て秋に合同竣工式を考えるとのであり



▲着々と建設が進む地場産業モニター

●保育所関係

みどり保育園 ▼平成七年度から定

員を六十人から四十五人にしたところでありましたが、平成九年度からまた六十人に戻したいとのことでありあります。三才未満児の入園が多くなったということでもあります。永慶保育園 ▼九十

人定員では大変経営にはきつところですが、延長保育事業も取り入れて頑張っていくことでもあります。

町長施政方針②

万円ずつ五百万円の基金を積み、所有権をはっきりさせていこうとするものであります。



▲夏には名所になるボツメキ水源地

●消防関係

消防条例改正 ▼昭和五十五年以來

十六年ぶりに機構改革を行います。

内容はポンプ数を二十台から十六台に、将来的には全部小回りの利く可搬式ポンプに、分団の人数を小隊訓練に必要な人数二十一人をひとつの基準にして、今の百八十五人から百四十二人にするというであります。これに合わせ、消防ポンプ三台以上の更新には補助事業で、来年以降老朽ポンプの更新を図ります。

消防団緊急伝達装置チャイムは九年度、高下屋地区と考えております。

地域の人づくりと文化発展を目指した教育環境づくり

●小学校関係

大琴小 ▼厨房専用トイレを造ります。〇―157関連で必置施設となっております。

八塩小 ▼体育館が二十年を経過して屋根、外壁そして厨房の給水管が老朽化していますので、改修いたします。

高瀬小 ▼プール用地を買収します。

大台分校 ▼廃止条例をお願いしております。田植後のいい機会に大台地区の皆さんを中心にした廃校式を予定しております。

●中学校関係

サッカーグラウンド改修 ▼補助事業に採択をお願いしているところです。

採決になればバックネットも整備していきたいと考えるものです。

中学校玄関入り口 ▼細工をして屋根の雪落下を防いでいたのですが、改修いたします。

校地内が暗いと言われておりますので街灯も設置をします。

中学校プール ▼利用率などから改修に手をつけていないのでありますが、町民プールということにして整備をして、それを中学生も利用するということになれば効率がいいものになると考えております。

出来たら、屋根付の町民プールとして平成十、十一年の二か年事業で出来ないかと思っております。

地域間交流を目指した生活道路網づくり

●町道関係

両善寺線 ▼家屋の移転補償が中心になります。

石高線(通称ビックリ坂) ▼視境

改良と道路拡幅そして多少の勾配の修正を図り、冬期交通の安全をと考えております。

住吉線 ▼境界確認が出来たので、関係者の利便を図りたいと考えます。

ふれあい道路 ▼九年度も引き続き整備します。粗大ゴミ捨て場のカンナ平に通ずる道路についても整備します。

●農道整備関係

農道 ▼新処線、小田線が本格化、明通線も調査測量、用地買収に入ります。

集落道路 ▼上里集落と須郷田に調査費などをおいてみたいと考えています。

●国県道関係

一〇七号 ▼トンネル工事の取り付け道路に入ると聞いております。トンネルは来年度ということですが、仁賀保矢島館合線 ▼館合バイパス

●生涯学習関係

図書館ネットワーク整備事業 ▼公民館図書室も手狭であり十分な活用が出来ないのでありますが、せめて県立図書館とパソコンで結んで県の本を利用しようとして試みたところであります。

町民海外研修 ▼昨年からアジアを見るということにしておりますが、出来たらまた大内町などと一緒に研修できればと思っております。

AAB朝日放送テレビ中継局設置 ▼県と放送事業者そして町との事業費の負担割合のルールがあるのですが、事業者負担の一部を町が肩代わりをして順位を上げてもらったという事情もあります。順番を待っているといつになるのか分からないということでもありますので判断したところです。松柴

は、完成ということになります。

岩館バイパス ▼結果的には概略測量で終わってしまいました。九年度こそと期待をしておりましたが、設計調査は確実と思っております。

笹倉トンネル ▼八年度は入り口のなだれ防止のみでしたが、九・十年の二か年で内部巻立て補修が出来の見込みです。

羽後向田線 ▼一年間置かれましたが、今年には測量調査に入れると思っております。

●河川公園

河川公園進捗 ▼御覧の通りスローテンポであります。遅れはありますが

地区の難視聴解消事業はルール通りのテンポであります。遅れはありますが負担をいただいている事業となります。



▲中学校での英語教育

完成については心配するものではありません。しかし、前に申し上げております九年度の完成は無理と思っております。

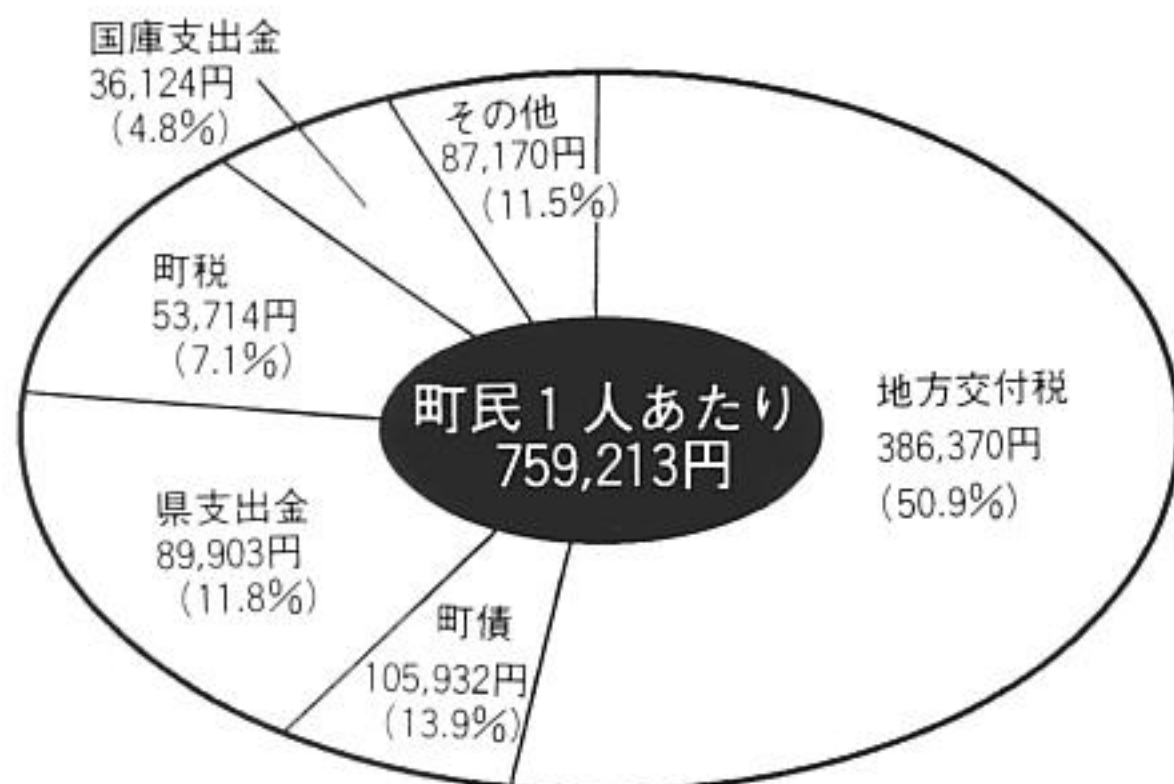
●林道

県営三森山線 ▼ただいま茂沢を抜けるところで地滑りが発生しております。工法について悩んでいるようです。工法について悩んでいるようです。九年度で我が町分は大方できあがる事になると聞いております。

八塩いこいの森関係 ▼林業地域総合整備事業で県道仁賀保矢島館合線と八塩ダムを結ぶ道路改良を計画しております。

今年予算、その使い道は？

一般会計（歳入）



一般会計 予 算

平成
9 年度

町の台所は

一人
当たり

七十五万九千二百十三円

町の人口は、2月
末現在の
5,360人
とした。

当初予算総額

4,069,383千円

● 九年度主な事業（一般会計）
● 地場産業センター建設
● 中山間地域総合整備事業
● 分譲宅地整備事業
平成九年度一般会計予算の総額は、四十億六千九百三十八万三千円で、前年度当初と比較すると、二億五百四十五

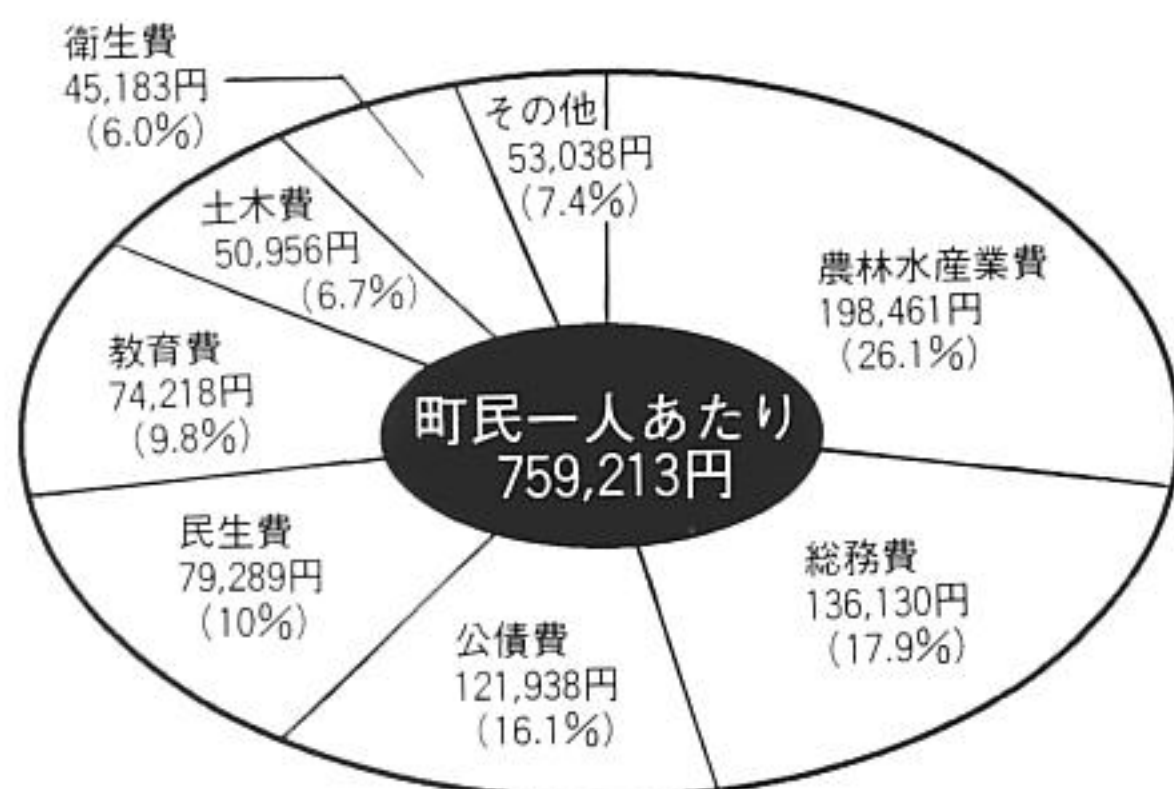
万六千円、五・三%の増です。主な事業としては道の駅に隣接する地場産業センター建設などの地域活性化拠点整備事業に三億一千四百五十九万円、中山間地域総合整備事業費として一億八百五十九万二千円、分譲宅地整備事業費二千八百四十六万四千円です。

平成九年度一般会計補正予算
県知事選挙に伴う補正
定例議会最終日、歳入歳出にそれぞれ三百八十七万二千円を追加、歳入歳出予算総額を四十億七千三百二十五万五千円としました。
この補正は県知事辞任に伴う県知事選挙などの費用です。

歳 入 (単位：千円/△：減)

項 目	本年度当初予算	前年度当初予算	増 減 率 (%)
町 税	287,909	275,681	4.4
地 方 譲 与 税	67,000	82,000	18.3
利 子 割 交 付 金	3,000	5,000	△40.0
地方消費税交付金	12,000	0	0.0
特別地方消費税交付金	1	10	△90.0
自動車取得税交付金	38,000	35,000	8.6
地 方 交 付 税	2,070,941	2,318,565	△10.7
交通安全対策特別交付金	1,200	1,100	9.1
分担金及び負担金	75,736	57,233	32.3
使用料及び手数料	12,205	12,847	△5.0
国 庫 支 出 金	193,624	186,236	4.0
県 支 出 金	481,878	413,981	16.4
財 産 収 入	12,860	9,819	31.0
寄 付 金	1	10	△90.0
繰 入 金	142,997	30,690	365.9
繰 越 金	60,000	90,000	△33.3
諸 収 入	42,231	39,155	7.9
町 債	567,800	306,600	85.2
合 計	4,069,383	3,863,927	5.3

一般会計（歳出）



歳 出 (単位：千円/△：減)

項 目	本年度当初予算	前年度当初予算	増 減 率 (%)
議 会 費	88,706	84,026	5.6
総 務 費	729,658	444,949	64.0
民 生 費	424,987	431,934	△1.6
衛 生 費	242,182	225,277	7.5
労 働 費	9,770	12,655	△22.8
農 林 水 産 業 費	1,063,749	1,335,647	20.4
商 工 費	22,356	17,083	30.9
土 木 費	273,123	249,372	9.5
消 防 費	160,352	159,304	0.7
教 育 費	397,806	311,340	27.8
災 害 復 旧 費	3	3,290	△99.9
公 債 費	653,590	585,000	11.7
諸 支 出 金	101	1,050	△90.4
予 備 費	3,000	3,000	0.0
合 計	4,069,383	3,863,927	5.3

簡易水道事業で老朽管敷設替
七つの特別会計予算総額は、二十五億九千九百四十八万五千円で、前年度当初と比較すると四億七千八百九十四万五千円、一二・六%の増です。簡易水道事業は二億六千二百九十九万五千円で、前年当

初と比較すると一億五千二百一十一万一千円、一三七・二%の増になっています。これは、老朽化した管を五カ年計画で敷設替していこうとするものです。本年度は第一配水池から泡ノ瀨区間までの敷設替となる予定です。

平成9年度特別会計予算

(単位：千円／△：減)

項 目	本年度当初予算	前年度当初予算	増 減 率 (%)
国 民 健 康 保 険	512,993	443,965	15.5
老 人 保 健	709,485	686,219	3.4
簡 易 水 道	262,995	110,894	137.2
農 業 集 落 排 水	844,952	616,653	37.0
特別養護老人ホーム	246,993	237,842	3.8
大 平 ス キ ー 場	21,281	21,982	△3.2
玉 米 財 産 区	786	2,985	△73.7
合 計	2,599,485	2,120,540	122.6

特別会計 予 算

当初予算総額

2,599,485千円

予算編み町長施政方針③

課題は限りなく存在し財源は有限であります。今施策して行かなければならないもの、多少の時間があるもの、補助事業か、より有利な起債は可能か、起債の総額、残高はどのくらいになるのかを勘案しての予算であります。自主財源に乏しい我が町財政は、どうしても補助事業や過疎債をはじめとする起債に頼らざるを得ないのであります。そのためにも適正な財政の健全化指数を心して、これから想定される行政需要にも備えて行かなければならないのであります。限られた財源の中で知恵を絞りながらの予算であります。

一般会計は前年度当初比では五・三%の増となっております。

歳入については地方交付税が五〇%になります。起債も一四%となりますが、拠点施設整備の最後の年にもなっており、地域総合整備事業債が大きなものになっております。

七つの特別会計合計では二十六億円ほどになります。限られた財源と職員定員の中ですます増大する行政需要に対処して行くためには、常時行財政事務の見直しをして行かなければなりません。

国民健康保険事業勘定特別会計は昨年度当初比で一五%ほどの伸びになっています。老人医療拠出金の伸びが大きくなっております。

老人保健医療事業特別会計は昨年度比大きな伸びにはなっておりません。

簡易水道事業特別会計は昨年度比一三七%の伸びとなりますが、これは第一次水道整備事業で敷設した本管が老朽化し漏水率が大きくなって来ているために、五カ年事業で老朽本管の取り替えをしていこうとするものであります。九年度は第一配水池から泡ノ瀨までと農集排との合併施工でできる箇所になって行きます。これができしかもボツメキ水源の増量が図られますと、我が町の水道については心配のないものになります。

農業集落排水事業特別会計は八年度からいよいよ山紫水明の里の最も基本となるべく事業を始めたのであります。除雪や冬期交通への支障が心配されたのですが、天候にも恵まれ、また業者の適切な管理もあって順調な事業展開が出来ました。九年度は処理場の整備ということになります。また台山地区公共施設の管路工事にも入ります。

特別養護老人ホーム東光苑特別会計は十二年目に入りますが洗濯機などの更新も考えて行く時期になりましたが、まずは使えるまで使うということです。

大平スキー場運営費特別会計は国道二〇七号そばのファミリースキー場と決めての事業展開であります。

玉米財産区特別会計は昨年六郎沢の学林の林道整備が終わったことです。今年は看板を立て、伐根の現地保存をして行きたいと思っております。

分譲宅地整備事業、町長施政方針④

我が町の将来を考えると、分譲できる宅地の整備も必要と考えるのであります。全町四カ所ほどを考え、まず大琴地区を先行させたいのであります。大琴地区はご承知の通り、本荘市に三十分圏内にあります。これが船木奥ヶ沢バイパスができ上がり、近い将来石沢バイパスもできていくときに、夏冬二十分圏内に入って参ります。宅地としての有利さが年々高まって行きます。また、大琴小学校は残念ながら児童数の減少が著しいところであります。両方に益すればという期待も勿論強くなりますが、まずは分譲地として大琴地区が最適と考えるものであります。平成九年度は用地の買収を考え、早ければ平成十年度中に、遅くとも十一年度中には分譲したいと考えております。

この際心配されておりました水の問題でありますが、水源である男清水、女清水の権利者の皆様のご理解もいただいたことをご報告申し上げます。

分譲宅地整備事業について

Q 分譲宅地整備事業の目的は？

A 過疎対策の一環として、基礎的生活環境の整っている基幹的地域に分譲地を整備することにより、若者の地元定住を促進、周辺集落から基幹集落への移転希望者、Uターン希望者などの受け入れを図り、人口の流出防止と明るく元気の出る町づくり推進を目的にした基本計画です。

なお、基本計画策定前に町内無作為に選んだ世帯に同計画に関するアンケート調査を行い、町民の皆さんが分譲宅地に対し、どのような意識を持っているのかを調査したところでは、

人口の流出防止と明るく

元気の出る町づくり推進

町定住促進分譲宅地整備に関するアンケート調査結果

(回答率七〇・二%)

【調査客数三百三十九世帯】

①あなたの世帯で分譲宅地を求めるとした場合、必要とする面積要件についてどう考えますか。

1、住宅が建築できる程度 四人(二・七%)

2、住宅と車庫が建築できる程度 四十四人(一八・五%)

3、住宅と車庫、物置が建築できる程度はしい。 百九十人(七九・八%)

◆回答者二百三十八人

②あなたの世帯で分譲宅地を求めるとした場合、一区画当たりの面積はどの程度ほしいと考えますか

1、八十坪程度 二十六人 (二一・〇%)

2、百坪程度 九十六人 (四〇・七%)

3、百二十坪程度 四十人 (一六・九%)

4、百五十坪程度 五十三人 (二二・五%)

5、二百坪程度 二十一人 (八・九%)

◆回答者二百三十六人

(回答率六九・六%)

③住宅の改築を機会に現在地から移転するとした場合、あなたの世帯ではどこに土地を求めたいと考えますか

1、現在の集落内 五十七人 (二四・二%)

2、現在の自宅から近い基幹的集落三十四人(二四・四%)

3、町の中心部 二十八人 (一一・八%)

4、町内の比較的積雪量の少ない基幹的集落 三十七人 (二五・七%)

5、本荘市や横手市などに近い町内の基幹的集落 二十五人 (二〇・六%)

6、本荘市など町外の市町村 五十五人 (三三・三%)

◆回答者二百三十六人

(回答率六九・六%)

④あなたの世帯で町内で分譲宅地を求めるとした場合、位置的にはどこなところを考えますか

1、町の中心部 五十六人 (二四・五%)

2、現在の自宅から近い基幹的集落九十一人(三九・七%)

3、本荘市や横手市などに近い基幹的集落 五十六人 (二四・五%)

(二四・五%)

4、位置的には特にこだわらない 一十六人(一一・三%)

◆回答者二百二十九人

(回答率六七・六%)

⑤あなたの世帯で分譲宅地を求めるとした場合、坪当たり単価はどの程度まで(上限)でしたら買い受けしますか。

◎坪(三・三㎡) 当たり単価

一万円程度以下 三十四人

一万五千円程度 十三人

二万五千円程度 四十人

三万五千円程度 十二人

三万五千円程度 三十四人

四万五千円程度 九人

五万五千円程度 二十一人

六万五千円程度 一人

七万五千円程度 二人

八万五千円程度 二人

十万円程度 五人

十三万円程度 一人

十五万円程度 三人

二十万円程度 二人

三十万円程度 二人

三十五万円程度 二人

四十万円程度 一人

◆回答者百八十六人

(回答率五四・九%)

町民のみなさんからの貴重なアンケートを元に、町では中心集落などの基礎的生活環境の整った地域において、若者などのニーズにあった魅力ある住宅用地を提供すべく整備を進めていきます。

第一回定例議会ダイジェスト

可決された主な事項

町畜産振興基金条例制定

全県一の繁殖牛産地の地位をより強固なものにしようと町畜産振興基金条例を定めた。今後五年間で町が三千万円、JAが一千万円積み立て、運用収益を畜産振興のために役立てるもの。

小笠原謙一氏を固定資産評価審査委員会委員に再任

任期満了に伴い町固定資産評価審査委員に小笠原謙一氏を再任したもの。

消防団員定数の一部を改正 定員百八十五人を百四十二人に改める

一般質問 (一部抜粋)

中西 蔵之助 議員

●新生産調整の考え方と今後

の取組みは

○十年まではこの体制を維持。農業投資予算が優先確保できるなど行政メリットもある。

●高齢者保健福祉推進十力年戦略の取り組みは

○二十一世紀にそなえ、福祉の充実是不可欠。議論しながら考えていきたい。

●デイサービス施設と並行する託老所の必要性は

○難しい。しかし議論しながら考えていきたい。

●パートヘルパー及びリフォームヘルパーの雇用計画は

○四人の常勤と一人の臨時職員で対応しているが需要者がまだ少ない。考えていない。

●老人家庭及び一人暮らし老人家庭に対応する冬期間の除雪ヘルパー設置は

○自治会にも協力を求めたい。

●公民館図書室の位置は

○構造的にむずかしい。現状で対応していきたい。

●公民館入り口に風除室の必要性は

平成八年度補正予算

一般会計累計総額四十六億七千五百十二万円一千円

三月七日議会定例会で八年度各会計補正予算が原案通り可決されました。

●一般会計補正予算
六千八百五十二万円増
補正後累計
四十六億七千五百十二万円二千円

たい。

●役場庁舎建設のための用地購入の考えは

○場所の選定からはじめなければいけないと考えている。

●建物建設に於ける公債費比率は

○公債比率を管理しながら事業展開していきたい。

●消費税増額分を公共料金に加算する考えは

○法律で決まったことでもあり、転嫁せざるを得ない。最終的に町にも入ってくる。

小野 健 議員

●減反政策の見直しを

○現実には国の方針は減反である。その中で出来ることは支援しながら考えていきたい。

●食料の多くは輸入に依存し

主な事業は▽県営圃場整備事業負担金二千万円▽農道二千二百三十三万八千円など

●国民健康保険事業勘定特別会計補正予算
二十五万五千円増
補正後累計
四億七千五百五十二万円

主な事業は▽一般被保険者療養給付金一千三百五十万円など

●農業集落排水事業特別会計補正予算
二百五十四万三千円増
補正後累計
六億二千二十三万一千円

主な事業は●公有財産購入費七百万円など

●大平スキー場運営費特別会計補正予算
補正後累計
二千二百八十八万二千円

長い時間をかけて行財政改革を

●町役場庁舎建設への取り組みについて

○建設総額の半分程度の基金があれば可能ではあるが、時間をかけ議論し、先の見通しを立てながら考える。

●県営圃場事業で実施した地区の水田排水路整備について

○土地総が十年で終わるので、次については全体の事業をふまえながら議論していきたい。

佐藤 十内 議員

●町行政改革及び財政改革について

○議論しながら総論ではなく、ひとつひとつ検討する時期。

県知事選挙

投票日は

四月二十日

さまざまな思いを秘めそれぞれの道を

〜巣立つ卒業生たち 写真で紹介します。



小特集 卒業



三月。春を前に町各学校で卒業式が
 挙行されました。どの卒業生も、長い
 時間を共に過ごした友や恩師、長年親
 しんだ母屋に別れを告げ、さまざまな
 思いを秘めながらそれぞれの道を歩み
 始めました。

町内卒業式の先陣を切って三月二日
 には下郷分校卒業生に卒業証書が手渡
 されました。下郷分校生二十五人の進
 路先は進学六人、就職十九人となってい
 ます。就職者十九人のうち、県内には
 十四人が、そのうち、本荘・郡内には
 八人が残ることが決まっています。

全員そろっての記念撮影では、それ
 ぞれ緊張していましたが、最後のホー
 ムルームではいつも通りリラックス。
 笑顔で高校生活を終えました。

●下郷分校進路状況●

区分 性別	進 学		就 職					合計
	専 門 学 校 等	小 計	県外	県 内		未定	小 計	
				本 荘・郡内	郡外	公務員		
男	4	4	1	5	1	2	9	13
女	2	2	2	3	5	0	10	12
計	6	6	3	8	6	2	19	25



△卒業生そろって、最後の記念撮影



▲卒業証書を受け取る阿部くん



▲斉藤講師のあいさつ

明るい笑顔が印象的と先生 中学校寄宿舎閉舎式

冬期間の共同生活を終え、
 3月19日中学校寄宿舎閉舎式
 が行われました。式には関係
 者50人余りが出席、冬期間の共
 同生活を振り返っていました。

最後に、講師の斎藤和寛先
 生が5カ月間の生活にふれ
 「明るい笑顔が印象的。どん
 な困難も乗り越えられると確
 信しました」と寮生に語りか
 けていました。



▲笑顔の卒園園児

わが子の成長ぶりに目を細め 永慶保育園卒園式

「4月から、ほくたち小学
 校1年生だよ」と、3月25日
 永慶保育園で卒園式が行われ
 ました。

大琴、高瀬両小学校に入学
 が決まっている永慶保育園園
 児らは、名前が呼ばれるたび
 に元気よく返事をしていました。

園児の父母らはわが子の成
 長ぶりに目を細めていました。



▲先輩、忘れないでね

三月十三日、四月中旬を思わせるうららかな陽気の中、第二十八期東由利中学校卒業式が行われました。卒業生は全部で六十六人。

校長式辞では「希望に向かって挑戦」「人間はどこでも学ぶことが出来る」「人のため、世の中のため自分ができることを考える」と三つの願いが卒業生に託されました。式では感激のあまり涙を見せる女生徒もいたようでした。

教室での最後のホームルームでは、担任から一人一人に通知表を手渡され、最後の言葉が贈られました。

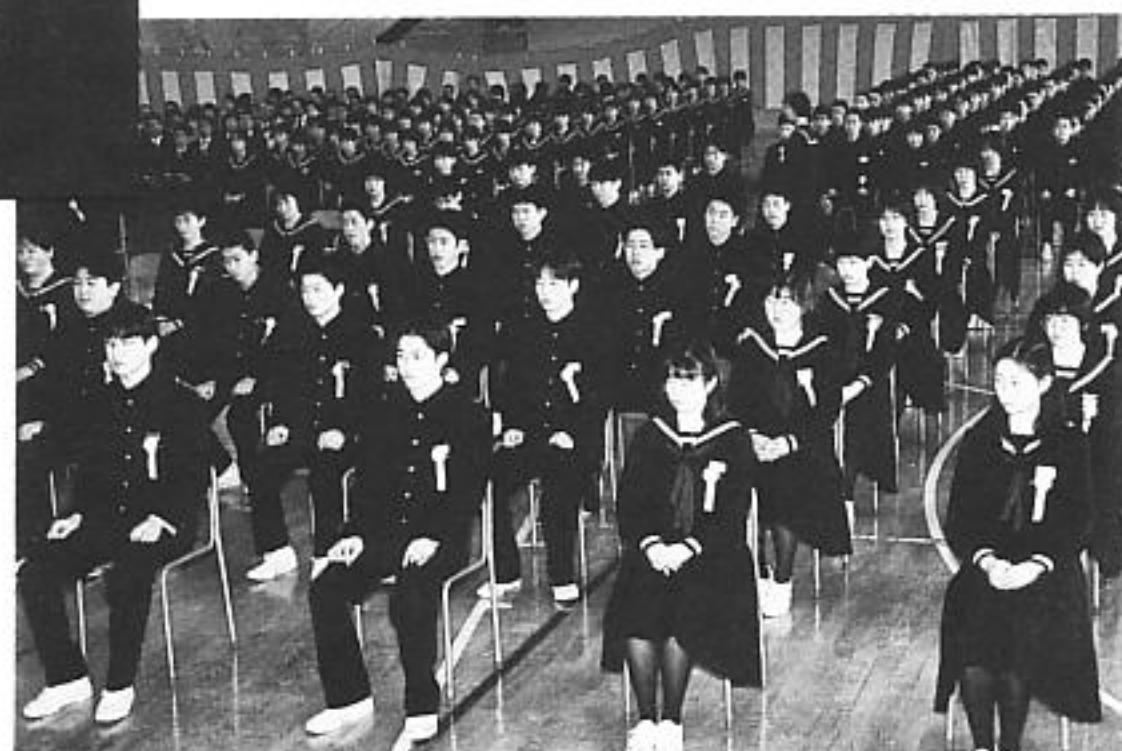


▲笑顔で卒業証書を受け取る女子生徒

3月13日
東中卒業式
卒業生66人



▲先生、長い間ありがとう……



▲厳粛だった卒業式



▲卒業証書と一緒に言葉が贈られた

3月18日
高瀬小学校卒業式
卒業生30人



▲式直前、緊張している児童たち



▲卒業の歌を在校生の前で歌う

3月17日
八塩小学校卒業式
卒業生31人



▲教室で通信簿が渡される度歓声が

各小学校卒業式

卒業式～思い出のシーン

3月18日
大琴小学校卒業式
卒業生11人



▲卒業生と在校生のエール交換



中学校で共に学ぶ仲間たち

平成八年度 芸術文化面で功績の十四個人を表彰 スポーツ大会活躍

「芸術、文化面で功績のあった方を讃えよう」と、町芸術文化協会が平成六年に定めた芸術文化奨励賞。今年は三月二十四日に有鄰館で表彰式が行われました。表彰された方は次のとおりです。

東由利町芸術文化奨励賞受賞者

敬称略

- 小野利彦「上里」
- 県美術展覧会（工芸の部）入選（二点）
- 遠藤陽子、遠藤みゆき「由利高等学校校民謡部」
- 全国高校総合文化祭（郷土芸能の部）優秀賞受賞

また、郡大会以上のスポーツ大会で活躍した団体や個人に贈られるスポーツ栄誉賞の授章式も芸術文化奨励賞と併せて行われ、個人の部、個人競技で五人、団体競技で六人が表彰を受けました。表彰された方は次のとおりです。

東由利町スポーツ栄誉賞受賞者

敬称略

《個人の部》「個人競技」

- ◆長沼敬晴「東由利スキースポーツ少年団」
- ◆本荘市由利郡スポーツ少年団種目別交流会スキー競技小学校四年生男子大回転第一位
- ◆古閑郁実「東由利中学校」
- ◆本荘市由利郡中学校陸上競技大会 男子三種競技A第一位



▲受賞されたみなさん

- ◆工藤恵理佳「東由利中学校」
- ◆同陸上競技大会女子三種競技A第一位
- ◆小松裕介「東由利中学校」
- ◆県中学校スキー大会男子大回転第二位
- ◆本荘市由利郡中学校スキー大会男子回転第一位
- ◆阿部誠「蔵新田」
- ◆国民体育大会冬季大会スケート競技成年男子B秋田県代表
- ◆「団体競技」
- ◆畑山裕美「本荘高等学校」
- ◆全国高校女子駅伝競走大会県予選会第一位
- ◆横山亜由子「由利高等学校」
- ◆全国高校バレーボール選抜優勝大会県予選会第一位
- ◆小松和也、高橋真之「由利工業高等学校」
- ◆高校体育連盟中央支部総合体育大会 第一位
- ◆県高校総合体育大会 第三位・高校体育連盟中央支部 新人大会第一位・県高校新人選手権大会第三位（全てバスケットボール）
- ◆横山雅弥、佐藤陽「由利工業高等学校」
- ◆高校体育連盟中央支部 新人大会第一位・県高校新人選手権大会第三位（全てバスケットボール）

また、郡大会以上のスポーツ大会で活躍した団体や個人に贈られるスポーツ栄誉賞の授章式も芸術文化奨励賞と併せて行われ、個人の部、個人競技で五人、団体競技で六人が表彰を受けました。表彰された方は次のとおりです。

予定より四カ月早い二十万人

湯楽里入湯者二十万人達成

黄桜温泉・湯楽里が三月九日、入湯者二十万人を達成しました。開業して十六カ月、月一万人を見込んでいただけに、予定より四カ月早い記録達成です。記念すべき二十万人目は本荘市の高橋希和さん。突然の出来事にしばらく驚いていました。

夏開業の地場産業センターと併せて、ますますの発展が期待されます。



▲記念品を受け取る高橋希和さん

消防表彰、消防活動への意識、新たな

石渡力造さん消防功労章、町消防団卒頭綬受賞



▲受賞報告に来庁した石渡団長(右)と島山本部長(左)

三月五日東京都日本消防会館で平成八年度消防庁長官定例表彰の授賞式が行われ、式上本町消防団団長の石渡力造さん(66)に功労章が授与されました。石渡さんは昭和二十八年下郷村消防団員を拝命以来、一環して災害の防除と消防力強化に努め、その成績が特に優秀であり、他の模範と認められ今回の表彰を受けたものです。「思いがけない功労章に驚いている。今後がんばりたい」と喜びを話していました。また、三月十七日には県庁で日本消防協会定例表彰の伝達式が行われ、本町消防団に卒頭綬が贈られました。春早々の明るい話題に関係者一同、消防活動への意識を新たにしていま



▲賞状と記念品を受け取る佐藤さん

ことぶき大学は老人達の「学び」の場として多方面にわたる研修を行っている集い。三月十一日に朋楽荘において、ことぶき大学一年間の総決算として大学閉講式が行われました。

総勢二百二十三人のことぶき大学生中、四十五人に皆勤賞、二十人に精勤賞が授与され、皆勤賞の代表として佐藤貞さん（館合第一寿会）に学長である小笠原教育長より賞状と記念品が手

高齢者大学一年間の総決算

平成八年度ことぶき大学閉講式



満十歳を迎え、一つの区切りを
大琴小学校1/2成人式

三月十五日、満十歳を迎えたことを一つの区切りにお互いの成長を認め喜び合おうという「1/2成人式」が大琴小で行われました。これは平成三年から同校で行われている行事です。

この日成人を迎えたのは同校四年生六人。上下級生の拍手に迎え入れられた後、各々、将来の夢を発表、十年後の成人式に思いをはせていました。

今年もご苦労さまでした。

ことぶき大学皆勤賞名簿（敬称略）
（四十五人）

【黒淵福寿会】

高橋吉四郎 佐藤清 小松作蔵
横山徳五郎 佐藤ヨシノ

【田代福寿会】

佐藤養三 佐藤銀一郎 小松金三郎
小松昭三 佐藤アキミ 小野マサ子

【館合第一寿会】

渡辺久一 遠藤忠一郎 渡辺シメ
佐藤貞 遠藤ユリ 小松八重
佐藤ソルヨ

【館合第二寿会】

鈴木保之助 高橋勇蔵 工藤武雄
【館合第三寿会】

柴田与太郎

【老方敬寿会】

長谷山茂 小松利一郎 遠藤三郎
佐々木弥一郎 小松富七 佐野竹蔵
佐々木チヨミ 伊東アキヨ

【蔵壮寿会】

阿部アキノ 伊東キヨ 阿部貞雄
小野豊二郎 阿部ユリ子 伊東ハツエ

【法内生寿会】

遠藤治郎助 高橋金治郎

【宿紅葉会】

佐々木進 遠藤与一 遠藤昭一
遠藤ヤエ

【袖山長寿会】

鈴木藤三郎 佐藤鶴松 鈴木スエコ

標準賃金一万八千五百円に

町建設技能組合

町建設技能組合（阿部悟組合長）の第三十七回定期総会が三月二十二日、大蔵館で行われ、標準賃金、平成九年度事業計画が決められました。

平成九年度の標準賃金は五百円引き上げられ、一万八千五百円に決められました。



▲児童の一人石綿伸太郎くんの発表

古里での思い出を語らいあう

在京玉米会例会

二月十六日東京池袋で、年一度行われている玉米会例会が開催され、旧玉米中学校出身の在京者が親睦を深めました。

会には、現在三百十八人が名簿登録されており、そのうち当日は旧玉米中学校一期生（昭和二十三年卒業）から二十期生（昭和四十二年卒業）までの、五十人余りが参加しました。

今回四回目の玉米会例会。形にはまらず、和気あいあいとした雰囲気の中、久しぶりに再会した級友や幼なじみの健在をお互いに喜び合い、時には古里での思い出を語りました。

かつての少年少女に返り、終日楽しんだ例会は盛会のうちに終わりました。



▲参加したみなさん

雪残る八塩魅力に触れる

第三回

「早春・八塩げんきまつり」



▲八塩山をバックに疾走するスノーモービル

三月二日八塩こいの森駐車場に於いて、三回目の「早春・八塩げんきまつり」が開催されました。黄桜シーズンを前に、冬期間の八塩の魅力に触れる機会ということもあり、親子連れを中心に数百人が参加しました。

恒例のスノーモービル無料試乗会、同レースを始め、生卵キャッチボール、ペットボトルロケットなど、雪が残る八塩を楽しんでいました。



▲ペットボトルロケットを回収



▲親子で楽しんだスノーモービル試乗会

ピカピカの一年生 今年の新入学者(敬称略)

新たな気分でがんばろう！



◆八塩小学校入学者

(合計八人 男四人 女四人)

小松良樹(高戸屋) 佐藤大河
(津沢) 嶽石彬享(八日町)
長谷山達也(八日町) 田代優
(津沢) 畑山千穂(館合新田)
幕沢莉織(板戸) 渡辺舞(田代)

◆東由利中学校入学者

八塩小から

(合計三十一人 男二十二 女九)

石橋慎太郎(板戸) 小野雅人
(五海保) 小松慧太(須郷田)
小松大輔(高戸屋) 小松嘉紀
(智者鶴) 小松田友樹(泡ノ
淵) 齊藤正人(石高) 佐藤一
紀(松柴) 佐藤桐生(館西)
佐藤浩司(泡ノ淵) 佐藤孝太
(向田) 佐藤真吾(新沢) 佐
藤主税(津沢) 莊野達也(五
海保) 高橋拓也(地下ノ沢)
嶽石弘基(田代) 長谷山智
(地下ノ沢) 長谷山雄大(地
下ノ沢) 長谷山洋一(石高)
横山雄也(智者鶴) 渡辺聖也
(時雨山) 渡辺智幸(向田)
小野裕子(下小路) 鎌崎睦美
(久保) 小松大華(下小路)
小松陽子(館合新田) 佐藤碧
(宇戸坂) 柴田三紀子(須郷
田) 高橋亜弥(館合新田) 高
橋美佳(松柴) 遠藤ひろみ
(館西)

八塩小から

(合計三十人 男十六人 女十四人)

阿部重政(蔵新田) 阿部真澄
(蔵新田) 石渡裕(蔵) 遠藤
和彦(祝沢) 遠藤健光(新処)
遠藤信二(小倉) 遠藤勇樹
(野田) 遠藤優太(野田) 小
野徳昭(上里) 小野公寛(上
里) 工藤邦彦(新処) 工藤有
起(新町) 佐々木亮介(新町)
佐藤健二(新町) 佐藤忍(湯
出野) 畠山満洋(上通) 阿部
奈央子(岩館) 阿部元子(蔵)
遠藤希咲子(小倉) 遠藤菜々
子(小倉) 遠藤はるみ(蔵)
遠藤裕子(蔵新田) 小野絵李
果(蔵新田) 小野智秋(上里)
小野みゆき(下通) 木島留美
(横渡) 小松舞(中通) 佐野
優子(新町) 高橋由貴子(下
通) 畠山朋(寺田)

八塩小から

(合計十八人 男五人 女十三人)

浅田裕司(大琴) 小野浩士
(宿) 佐々木栄伸(大琴) 佐々
木克彦(大琴) 鈴木怜史(船
木) 遠藤麻衣子(宿) 小野香
織(高屋) 木島真記(大台)
佐々木綾子(大琴) 鈴木はる
香(沼)

◆大琴小学校入学者

(合計四人 男三人 女一人)

小松謙太(大台) 佐々木健太
(大琴) 畠山遼(大吹川) 小
笠原千尋(土場沢)

農林

ひがしゆり



▲町畜産の行方を占う講演会

今後の和牛改良の進み方

二月二十八日、有鄰館にて町畜産農家研修の一環として、畜産講演会が開催されました。当日は由利畜産農業協同組合連合会課長斎藤稔氏、矢島町伊東畜産代表伊東勝美氏による「今後の和牛改良の進み方」「購入者から見た由利子牛の評価」講演がありました。

平成九年度米穀販売業の登録申請がスタートします

平成七年十一月一日の食糧

法施行以来、政府米と自主流通米を合わせた計画流通米を販売する場合は、米穀販売業の登録申請をする必要があります。新たに登録を希望される方は、次に注意し申請しましょう。

・登録の区分

卸売業及び小売業

・登録の申請

申請書に事業計画書と必要書類を添付して、最寄りの農林事務所農務課へ提出する（県外に所在地を有する方は、県農政部流通経済課へ提出）

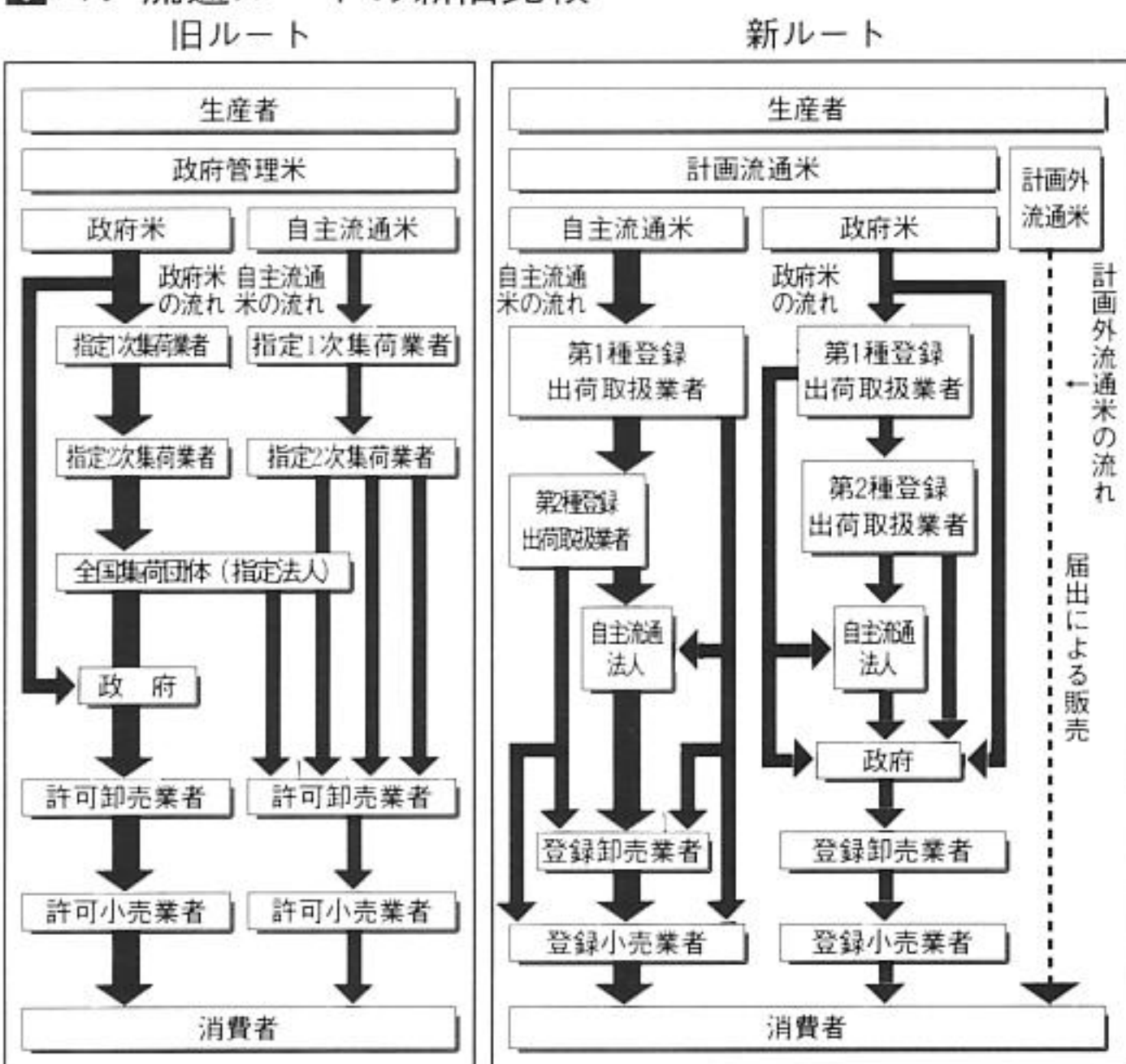
・登録の受付期間

平成九年四月一日から三十一日まで

☆登録申請後は所定の審査を経た後に、卸売業者にあつては六月十五日、小売業者にあつては、六月一日付けで名簿に登録、販売が可能となります。登録の有効期間は、登録の日から起算して三年となります。

登録要件など申請に関する詳しい内容、申請書様式などの取り寄せについては、最寄りの農林事務所農務課（☎0184-2217551）へ。

◆コメ流通ルートの新旧比較



注左図では、図中のルートのほか、生産者と消費者が直接取引を行う特別栽培米があった 資料：農林水産省

林業だより みどりの募金

昭和二十五年以来、荒廃した山々を緑にするために始められた国土緑化運動のシンボルである緑の羽根募金は、平成八年から「緑の羽根募金」による森林整備の推進に関する法律」の制定により「緑の募金」に生まれかわりました。緑の募金は、従来の緑化推進事業のほか、新たに国民参加による森林整備や緑化推進の国際協力など時代に即応した事業を展開することになっています。

東由利町緑化推進委員会では、緑の募金運動や環境緑化及び愛林思想の普及啓蒙、山火事予防対策の推進、有益野生鳥獣の愛護思想の普及などの事業をかねて行っています。昨年の主たる事業として、黄桜の里づくり事業があげられます。町の花「黄桜」を町内の各所に植えて環境緑化を普及しながら「黄桜の里」をつくらうとするものです。昨年は二十七団体に百三十八本の黄桜苗木を配布しました。今年も継続実施の予定です。（町林業懇話会長 佐藤 恒悦氏）

三月家畜市場

【東由利】

区分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
雌	34	270kg	350,261円	1,297円
去勢	42	292	426,910	1,462
合計	76	282	392,620	1,392

●最高価格雌 497,490円 北国7-8 福谷1 益美
●最高価格去勢 528,390円 北国7-8 福谷1 賢晴

木材共販市況

45〜55年生
(平成九年三月)

径 級	単価 / 石	備 考
直材30cm上	6,500円	
24〜28cm	6,100円	
14〜22cm	5,800円	
13cm下	3,300円	
曲り材	2,000円〜3,200円	

3月に入り、数量、金額共に下落。冬山生産の材が大量に入荷していることと、消費税がらみの共食い需要もこれまでか。

県知事選挙投票日は4月20日

選挙だより

秋田へのあふれる想いを伝えたい

秋田県知事選挙

佐々木喜久治知事辞任にともなう秋田県知事選挙が、四月三日(木)告示、四月二十日(日)投票に決まりました。

「秋田へのあふれる想いを伝えたい」をスローガンに、有権者の一票一票に新生秋田の未来がかかっている大切な選挙です。前回の県知事選挙では七四・七三パーセントという低い投票率だっただけに、有権者一人ひとりが関心をもって投票したいものです。

開票は投票日当日の午後七時から有鄰館で行われます。

「投票できる人」

投票できる人は、町の住民基本台帳に登録され投票日現在満二十歳以上の人で、告示日の三カ月前から引き続き町内に住んでいる人です。

「不在者投票」

投票当日、やむをえない用事のために投票所へ行けない人は、不在者投票ができます。町の選挙管理委員会(役場総務課内)に印鑑持参で出向き、手続きを行ってください。

不在者投票ができる期間は、告示日から投票日の前日までで、時間は午前八時三十分から午後五時までです。

町外で不在者投票をする場合は、町の選挙管理委員会に直接出向くか、電話で投票用紙請求書用紙と宣誓書用紙を

「郵便投票」

重度の身体障害を持ち、投票所での投票が困難と認められる方は、郵便による投票ができます。

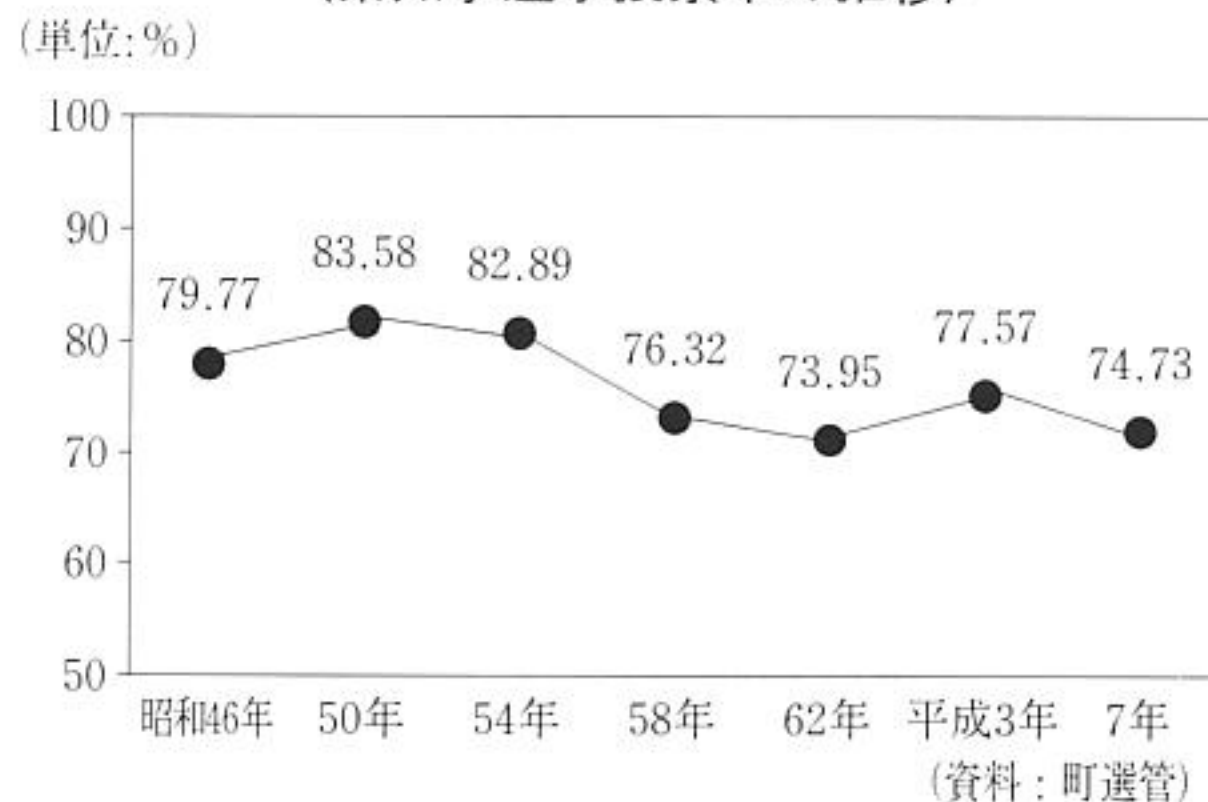
この場合いろいろな手続きがありますので家族の方は、早めに町選挙管理委員会に相談してください。

「投票の時間と場所」

投票日の投票時間は全投票所午前七時から午後六時までです。(別表参照)

今回は投票所を閉じる時刻の繰り上げは行いません。

〈県知事選挙投票率の推移〉



●東由利町選挙投票所一覧表

投票区	投票所
第一 (黒淵地区)	八塩館
第二 (田代地区)	住吉会館
第三 (袖山地区)	袖山館
第四 (館合地区)	八塩小学校体育館
第五 (松柴地区)	松柴地区集会所 (研修集会施設)
第六 (老方地区)	老方館
第七 (祝沢地区)	祝沢地区集会所 (研修集会施設)
第八 (法内地区)	克雪管理センター
第九 (蔵地区)	大蔵館
第十 (黒沢・大台)	黒沢地区集会所 (担い手センター)
第十一 (宿地区)	大琴小学校体育館
第十二 (杉森・沼)	杉森地区集会所 (農作業休養施設)

税務だより

町税、国保税100%完納に 理解と協力を

平成八年度分の町税、国保税の最終納期は一月三十一日でしたが、納税組合長さん始め町民各位のご協力により、一月完納は蔵自治会他十四自治会、二月完納は新町自治会他十八自治会となっています。完納自治会のご苦勞に対し、厚く感謝申し上げます。平成八年度も100%完納をめざしておりますので、よろしく理解と協力をお願いします。

一月完納自治会【十五自治会】

(順不同)

◆高戸屋◆下小屋◆下小路◆五海保◆茂沢◆蔵◆蔵新田◆宮ノ前◆黒沢◆桂台◆中ノ沢◆土場沢◆杉森◆奥ヶ沢◆畑村

二月完納自治会【十九自治会】

(順不同)

◆地下ノ沢◆袖山◆家ノ下◆宇戸坂◆八日町◆山崎◆松柴◆新町◆横小路◆寺田◆祝沢◆横渡◆岩館◆島◆新処◆十二ノ前◆高村◆舟木◆宿

(税務課)



町の宝もの

60

芭蕉塔（館合・新処）

藩政時代の東由利は幕府巡見使一行から見れば、豊かで余裕のあるくらしではなかったようです。

しかし、写真の二つの芭蕉塔碑は、意外と風流人や生活に変化を求め楽しみ、芭蕉を慕う人が結構いたことを物語っています。

例えば、文政六年（一八二三）ふるさとの前句・玉米村八日町連中の中に、
○振り袖を着て見て笑う土用干し。
○世の中の義理の始めや正月餅。
○古池や水味ふて鳴く蛙。など五百余

句、法内村連中のふるさとの俳諧前句には
○涼しさや岩さらさらと苔清水。など百六十余句が載っています。

写真上は館合大物忌神社境内、下は新処羽宇志別神社鳥居前で、建立年代は不明です。

文・畑山昭一

◆二月号「町の宝もの」欄中、畑山久光さんは畑山吉光さんの誤りでした。訂正してお詫びいたします。



ちいさな話

年賀はがき一・二等当選

九年度お年玉付年賀はがきの一等、二等商品が町内在住者に当たり、このたび老方郵便局長より授与されました。年明け早々幸運に恵まれた方は、一等(MDコンボ)が老方郵便局勤務の小松喜一郎さん、二等(コンパクトカメラ)が新処の佐藤長一さんの二人です。一等確率は五十万分の一、二等確率は十万分の一のこと。ちなみに町内に配達された年賀はがきの枚数は約十二万通のことです。



▲局長さんから佐藤長一さんに2等の記念品



知人の家で、夕食をごちそうになった時のこと。夕食を済ませ、食卓を片付けたかと思うと、さっそく家族そろっての歯磨きタイムが始まった。

それぞれ歯ブラシ片手に歯を磨き終えると、今度は子供の歯の仕上げ磨きである。四歳になるという娘さんは、ごろんと仰向けになって口を開けたままお母さんの熱心な歯ブラシに身をまかせている。何種類かのブラシや糸ようじを使って二十分ぐらいは磨いていたと思う。「歯のすきまも適当にあつてきれいな良い歯です」と歯医者さんにはめられるのよ」と言っていたが、

普段から間食もあまりしないし、小さい頃から食べ終わるとすぐ水を飲ませ、うがいさせ、歯を磨いてやっていたのだそう。

どこのお宅でもやられていることなのだろうが、当時「歯磨きだよ」と言うとき、「あとで・・・」と、口を閉じて逃げ回る娘をかかえていた私は、驚き感じし、わが家ももう少しがんばってみようという気にさせられたものだ。「だから食いばムシ歯のもと」「ごちそうさまが増えらるとムシ歯も増える」とか。「歯の質」「食べ物、食べ方」「ムシ歯菌」三つの足し算でできると言われるムシ歯。自分の歯で一生おいしく食べ物を食べるためにも、歯を大切にしたい。

(東由利中学校 鈴木多喜子先生)

♥ありがとう、愛の献血♥

【三月二十五日・太字は四〇〇cc・（ ）内は献血回数・敬称略】

- ◆JA前
小松淳子(2) 小松房之(8) 阿部道雄(11)
- ◆大東精機前
小松修一(39) 小松正二(65)
- ◆秋田ルビコン前
高橋由喜江(13) 遠藤由美子(3) 阿部由起子(25) 横山昌喜(31) 時岡雅高(4) 遠藤久(2) 守屋富士子(10) 小松五緒子(40) 石山万里子(13) 阿部早苗(2) 嶽石愛子(13) 杉野文子(5) 佐藤富美子(11) 遠藤武(10) 小野里子(11) 大日向静子(11) 畑山豊隆(9) 佐々木誠(5) 吉田幸実(24)
- ◆東光苑前
太田恵美子(4) 嶽石イツ(11) 高橋美和子(9) 小松健(36) 長谷山節男(48) 小松直子(2) 小松信記(37) 遠藤克幸(16)
- ◆役場前
小松貢治(7) 遠藤晃(41) 小松雄一(6) 工藤恵(4) 小松和美(7) 佐々木信幸(29) 高沢稔(8) 阿部和規子(3) 小松聖明(11) 阿部弘章(54) 嶽石文弥(47) 高橋重希子(2) 三浦雅弘(6)

趣味の

サークル紹介

No. 11

東由利郷土史研究会

(郷土史)

昭和五十二年、当時の蔵小
学校校長を講師にむかえて、
古文書の勉強会を始めました。
それが会の始まりです。主に
五十代以上が会の中心になっ
ています。

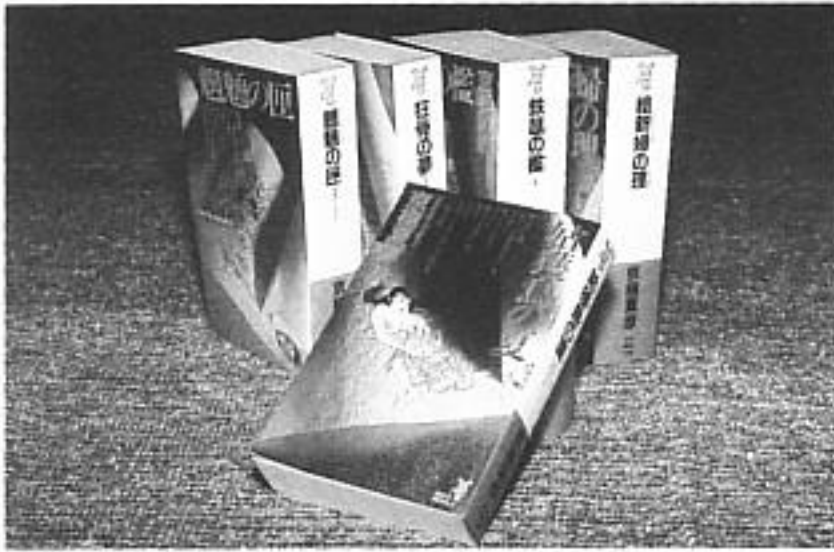
東由利にかかわる古文書を
中心に東由利を探索するのが
主な活動になっています。具
体的には本荘市などから講師
をむかえ、二時間から二時間
半の講義を受けています。町

の知らなかった出来事が改め
て分かり、勉強になります。
最近では町内だけでなく、一
年に一回程度周辺町村に出か
け、東由利との比較なども行
なっています。

今後の抱負としては、若年
層の人たちに参加してもらい
たいです。温故知新という言葉
葉がありますが、過去の事を
知ることのできる生き方につ
いて考える機会にしてみられ
たらと思います。また個人と
しては今後も研究を通じ、未
知への探索をしていきたいで
す。

(お話・畑山昭一氏)

私の一冊



・姑獲鳥の夏・魍魎の匣・狂骨の夢・鉄鼠の檻
・絡新婦の理／京極夏彦

時は第二次世界大戦後、ま
だ世の中が混乱から醒めやら
ぬ頃を舞台としたレトリック
ミステリーシリーズ。

古本屋「京極堂」店主であ
り陰陽師の中禅寺秋彦。自称
前衛小説家関口巽。元華族で
探偵職を営む榎木津礼二郎。
警視庁捜査一課刑事、木場修
太郎など個性の強いキャラク
ター達が盛りだくさんで、各
キャラクターの行動を追って
いるだけでも楽しめる。ちょっ
と江戸川乱歩くさくて、湿っ
ぽい文章が気持ちいいです。
(紹介者／小野一恵さん／下通)

新着本紹介

公民館図書室より

今月もたくさんの方が入荷
しました。ご利用ください。

◆海峡の光◆神々の指紋上・
下◆蛇鏡◆音楽が終わった夜
◆不夜城◆EQこころの知
能指数◆源氏物語◆故宮2◆
新聞記者の仕事◆智恵子抄◆
愛はプライドより強く

高橋宏幸先生から本が届き
ました。

心へのこるみんなの体験
①台風におそわれたキャンプ
②きりと雪からのだっしゅつ
③わらってよお母さん
④いつかわたしもシンデレラ
⑤大たつまきのきょうふ
⑥友だちははじめられっこ



▲先日行われた勉強会の模様

東由利の文芸

せせらぎ句会

錫杖を握る彼岸の僧の説	小野 貞子 (蔵新田)
彼岸会の父母さがす地獄絵図	阿部 澄子 (蔵)
山里も春の光や子等の声	菊地 常作 (湯出野)
天上界望みて春の日を吸いぬ	小笠原トミ (蔵新田)
沖昏れて椿に残る日の匂ひ	大庭喜右エ門 (舟木)
陽にまわる厨子の廊下の君子蘭	小松 女沙 (下小路)
まず一ツ買物籠にさくら餅	小松 忠正 (下通)
ぬかるみをさけ歩を移す彼岸寺	小笠原亮子 (蔵新田)
病室の窓に斑雪の峯遠し	小松順之助 (中通)
佛の間霊気ただよう春の壺	遠藤トミ子 (小倉)
まんさくの咲きて沢水ほとばしる	高橋民治郎 (舟打場)
地獄絵図しかと眺むる春日差し	吉川 葉子 (時雨山)
春となり明るさもどる小さき窓	阿部 俊子 (横渡)
六地藏笑みて春日に影を置く	嶽石 レイ (五海保)
彼岸会や膝に苔だく殿の墓	佐藤 正義 (湯出野)
盆梅の生きざま幹の瘤とせり	嵯峨 義之 (秋田市)
大伽藍塵ひとつなき木芽時	高橋ヒデ子 (横渡)
稚児行列記憶あらたに涅槃西風	小野石路子 (上里)
方丈の説に領き彼岸入り	宮野源二郎 (横小路)
啄木鳥の声に醒めたる春障子	小松 徳蔵 (湯出野)
引鴨の棹となるまで宙に混む	小松 正昭 (家ノ下)
東風吹くや山裾照らす蔵立寺	小松 良子 (山崎)
なごやかな句会をかもす彼岸堂	阿部 ナミ (蔵)

アイドルをさがせ!

小野 翔太 くん (1歳)
 (須郷田)
 お父さん 久一さん
 お母さん 節子さん



▲日なたぼっこ中にパチリ

どんなお子さんですか?
 「とにかく活発な子供。普通の子より体が丈夫なようです」
 好きなものはなんでしょう?
 「食べ物は何でも好きですが、特になっとうが大好物です。遊びは積み木遊び、絵描きも好きです」
 お兄ちゃんがいいますね
 「とても仲がいいです。お兄ちゃん(涼太くん)よりも元気がいいような気がします」
 最近凝っていることは?
 「相撲を見て真似をします」
 将来はどんな人になる?
 「健康であればいいです」
 (談/曾祖母・京子さん)

ハールボップ彗星

1995年7月、米国のA・ハールとT・ボップによって発見された彗星で、日本では97年2月から5月ごろまで肉眼で見える。周期は約4,200年。近日点距離は約0.92天文単位。4月初めはペルセウス座、5月はおうし座と移動していく。
 ◆彗星とは?→太陽系に属する小天体の一つ。直径1~10km、質量は地球の1兆分の1程度。金属や珪酸塩鉱物などの固体微粒子とアンモニア、メタン、炭酸ガス、水などが凍結した汚れた雪だるまのようなものと考えられる。



科学の目

今世紀最大級とされる「ハール・ボップ彗星」。壮大な天体ショーを見ようと、3月26日公民館前で観測会が行われました。

「見えた、見えた!」集まった20人余りの参加者は時を忘れ、夜空を眺めていました。



下郷分校2年
古関 竹志 さん

これまでの一年
これからの一年

下郷分校2年

下郷分校に入学して一年が過ぎた。たった一年だが、振り返れば色々なことがあった。

最も印象に残っているのは、競歩大会だ。スタート直前のものすごい雨で、全身ずぶぬれになったため、最初から気が滅入っていた。また、途中で足が何回もつれそうになり、棄権しようと思っただけ。しかし、ゴールを目指して、一生懸命頑張った結果、六位に入賞できた。翌日は足が痛くて、自転車のペダルをこぐのもつらかったが、とても充実した一日だった。

また、町内高齢者宅除雪作業などのボランティア活動もよい経験だった。東由利町はお年寄りの多いので、若い人たちによる福祉活動が大切になる。実際に体験して、一層その重要性が分かった。

学業面では、自分から進んでやるという姿勢が大事だと感じた。二年になると科目数が増えるので、これまでよりも気を引き締めて頑張りたい。同時に進路についても真剣に考えたい。

今年は、行事や勉強、趣味のバスケットボールへの取り組みを昨年以上に充実させ、有意義な一年になるよう努めていきたい。

埼玉県川口で看護婦をしていた彼女、准看護婦の資格だけでは・・・と奮起、4月から秋田の病院で働きながら、正看護婦の資格を取るために学校(3年)に通い始めました。正看護婦の資格を取ったらどんな仕事を? 「大変だろうけれど救命救急などの仕事が出来たらと思います」
 趣味はなんですか? 「お菓子づくりとか。最近は読書かな。シドニー・シェルダンとか、面白いです」
 どんな女性になりたいですか? 「飾らない人間になれたら」
 理想のタイプは? 「福山雅治さんとか素敵ですね。一緒にいて自然体でいられる人がいいです」
 町に望むことは? 「大きな行事を作り、町の人とのふれあいを」
 親にひとことどうぞ 「これからもよろしくお願いします」

フレッシュリレー



小野 千賀子 さん
 (須郷田・21歳)
 秋田県医師会立秋田高等看護学会通学・小泉病院勤務

初めての就職先のこと、覚えているでしょうか? いつもと違い、一人ぼっち。近所のはずなのに妙に遠く感じたこと。用事を済ませ、家に帰りついた時の安堵感。そんな懐かしい思い出が蘇ります。卒業シーズンも過ぎ、新しい出会いが待っているこの時期。不安もあるでしょうが、お子さんを元気に送り出してあげてください。
 (紹介者/小野邦子さん/宿)

こすずめのぼうけん



こすずめのぼうけん/
 ルース・エインワース作/福音館書店刊

ある日、いちわのこすずめにお母さんが飛びかたをおしえました。自分の巣を飛び出して、どんどん遠くに飛んでいくこすずめ。途中色々な鳥たちに出会いますが、なかまに入れてもらえません。そのうちあたりも暗くなり、こすずめはもうとべません。またお母さんに会えるでしょうか。

童話をあそぼう

4月→データ東由利

〈2/1~2/28〉

住民基本台帳人口 () は前月比

■男	2,609人 (△4)
■女	2,751人 (△4)
■計	5,360人 (△8)
■世帯数	1,404戸 (1)

() は2月からの累計

・出生	2人(3)	・死亡	13人(18)
・転入	5人(13)	・転出	2人(13)

■火災出動	0件(0)
■救急出動	13件(35)
■交通事故	2件(3)
・死亡	0人(0)
・傷者	2人(3)
■飲酒運転	0人(0)
■酒気帯び	0人(0)

カレンダー 4月の行事予定

2	保育園入園式
4	小学校入学式
5	中学校入学式
6~15	春の交通安全運動
6~12	春の火災予防運動
20	県知事選挙
25	自治会長会議
29	みどりの日



東由利

郷土の野草

No. 146



ヨ モ ギ
(キク科)

文・写真
小松忠正氏

山野に普通にある多年草で、地下茎を横に出してふえます。葉は互生し、楕円形で羽状に裂け、表面は緑色、裏面に白毛があります。茎は高さ百二十センチ程にもなります。春若葉を餅に入れて食べるので、モチグサともいわれます。八月頃、茎の上部から枝分かれして淡褐色の頭上花を多数つけます。昔は端午の節句にショウブといっしょに屋根にさしたり、風呂に入れたりして、災難を逃れるようにお呪いをしたものでした。六月頃、葉を乾燥させウスで搗き、フルイにかけ、毛だけ集めたものがモグサです。

戸籍の窓口

(2/21~3/20届出)

●お誕生おめでとう

2/23 遠藤 優太くん (勝美樹) 新処
3/7 佐藤 雄大くん (隆子) 律沢
●ご結婚おめでとう
3/3 安倍 正さん (家ノ下) 本莊市
3/12 小松 淳さん (宇戸坂) 岩城町
3/12 加藤 寿美子さん (岩城町)

●ごめい福をお祈りいたします

2/22 石渡ミオノさん (93) 雄母 岩館
2/22 小野トクノさん (92) 安男 母館合新田
2/22 小野 シクさん (88) 弘・義母 下通
2/25 長谷山サタヨさん (78) 傳治郎・母 湯出野
2/26 高橋 ヨシさん (69) 典・三妻 久保
3/1 佐藤シケノさん (89) 清一・母 袖山
3/15 阿部 春雄さん (75) 春悦父 蔵
3/17 大日向小吉さん (69) ハルヨ・夫 宮ノ前

広報クイズ

(広報を読むと分かるよ)

問①モウ太くんは表紙以外どこにいますでしょうか
問②町長施政方針記事を読んで今年一番期待する事業は？
問③湯楽里入湯者は何万人を達成したでしょうか
はがきに答え、住所、氏名、年齢、イラスト・希望などを書いて東由利町役場広報へ。締切は四月十八日です。
先月の答えはP4手紙らんでした。高橋将也さん(館合新田)佐藤美枝子さん(新町)、小松陽子さん(館合新田)、伊東喜隆さん(蔵新田)、高橋佳子さん(館合新田)が当選しました。

まごころ

町社会福祉協議会に長谷山傳治郎さん(湯出野)、遠藤清徳さん(蔵新田)、畑山一郎さん(館合新田)、小野安男さん(館合新田)、横山ミツさん(泡ノ淵)、畠山勝男さん(上通)、小野弘さん(下通)、高橋典三さん(久保)、石渡一雄さん(岩館)小松房子さん(横渡)からご芳志が届けられました。広報送付の謝礼として伊東徳美さん(北上市在住・蔵出身)、匿名希望さん(本莊市在住)、畠山竹志さん(本莊市在住・茂沢出身)から金一封が届きました。ありがとうございました。

ほっといっき

中学校の卒業式に取材に行き、色々と考えました。特に今年卒業する人たちが生まれた頃に、自分が中学校を卒業したのだということを考えると複雑な気持ちになります。つまり彼らの二倍程の時間を生きてしまったという事実を認識したのです。同時に果たして自分はその時間に見合った何かを残すことが出来たのだろうかと思ひ落ち込んでしまいました。もつとも逆に当時の気分を一時でも取り戻せたことも事実です。あの頃の思いが再び蘇った気がします。ここから自分も意識の上で再出発を、と思った春のひとつときでした。(さ)